

# 龍谷大学大学院 政策学研究

The Bulletin of the Graduate School of Policy Science,  
Ryukoku University

第1号

## ■論文■

人の成長を促す参加型教育の方法論

— デジタル・ストーリーテリングのワークショップ分析 —

池田 佳代

学齢期の障がい児の地域生活・放課後支援政策

— 地域から創るソーシャルインクルージョン —

池田 英郎

更新期を集中的に迎えた水道施設の計画的維持管理に関する考察

— 新たな自治体間連携の可能性を探る —

大西 英生

地方自治体財政運営の規律についての考察

— 市民参画のこころみ —

岡本 博和

持続可能な地域社会に向けた自治体政策評価

— 環境 NGO と市民会議による活動の成果と課題を踏まえて —

風岡 宗人

局地的豪雨に対処する「都市型治水」モデル

— 雨水活用を取り入れた面的流出抑制を地域協力で —

下釜 卓

市民主役の社会のための「住民空間」

— 新潟県旧巻町 原発を巡る住民の動向をてがかりに —

正阿彌崇子

文化的イベントが地域協働のまちづくりに果たす役割に関する研究

— 古い町並みを有する地方都市を事例に —

田代 利恵

台湾 桃米生態村における産業構造の変容とインターメディアリの役割

— 復興再建型「社区総体營造（地域づくり）」政策と社区自治の発展 —

若生 麻衣

# 龍谷大学大学院 政策学研究

第1号

龍谷大学大学院政策学研究編集委員会

---

# 目 次

---

## 論 文

人の成長を促す参加型教育の方法論 — デジタル・ストーリーテリングのワークショップ分析 — ……………	池田 佳代 ( 1 )
学齢期の障がい児の地域生活・放課後支援政策 — 地域から創るソーシャルインクルージョン — ……………	池田 英郎 ( 21 )
更新期を集中的に迎えた水道施設の計画的維持管理に関する考察 — 新たな自治体間連携の可能性を探る — ……………	大西 英生 ( 39 )
地方自治体財政運営の規律についての考察 — 市民参画のこころみ — ……………	岡本 博和 ( 65 )
持続可能な地域社会に向けた自治体政策評価 — 環境 NGO と市民会議による活動の成果と課題を踏まえて — ……………	風岡 宗人 ( 85 )
局地的豪雨に対処する「都市型治水」モデル — 雨水活用を取り入れた面的流出抑制を地域協力で — ……………	下釜 卓 (101)
市民主役の社会のための「住民空間」 — 新潟県旧巻町 原発を巡る住民の動向をてがかりに — ……………	正阿彌崇子 (127)
文化的イベントが地域協働のまちづくりに果たす役割に関する研究 — 古い町並みを有する地方都市を事例に — ……………	田代 利恵 (149)
台湾 桃米生態村における産業構造の変容とインターメディアリの役割 — 復興再建型「社区総体营造（地域づくり）」政策と社区自治の発展 — ……………	若生 麻衣 (169)
要 旨……………	(187)
2011 年度修士論文・課題研究題目 ……………	(207)

## 2011年度 修士論文・課題研究題目

題 目	修 了 生
日本における NPO 史試論 ～歴史的視点から NPO の課題を考察する～	樫 本 昌 子
成長と関係性の構築を促すデジタル・ストーリーテリング ～デジタル・メディア・ツールを用いた手法の考察～	池 田 佳 代
学齢期の障がい児の地域生活・放課後支援政策 ～地域から創るソーシャルインクルージョン～	池 田 英 郎
更新期を集中的に迎えた水道施設の計画的維持管理に関する考察 ～新たな自治体間連携の可能性を探る～	大 西 英 生
地方自治体財政運営の規律についての考察 ～市民参画のこころみ～	岡 本 博 和
持続可能な地域社会に向けた自治体政策評価 ～環境 NGO と市民会議による活動の成果と課題を踏まえて～	風 岡 宗 人
局地的豪雨に対処する「都市型治水」モデル －雨水活用を取り入れた面的流出抑制を地域協力で－	下 釜 卓
市民主役の社会のための「住民空間」 －新潟県旧巻町原発を巡る住民の動向をてがかりに－	正阿彌 崇 子
分権時代の自治体職員を育成するための人事制度の構築について 【課題研究】	鈴 木 啓 也
文化的イベントが地域協働のまちづくりに果たす役割に関する研究 －古い町並みを有する地方都市を事例に－	田代(川上)利恵
民間非営利組織の活動への共感を促進させる潜在的価値に関する研究 －存在意義の確立と自立性を促進させる価値創出と測定方法の考察－	比賀江 文 子
台湾南投県埔里鎮桃米里における産業構造の変化とインターメディアリの役割 －震災復興型「社区総体营造（地域づくり）」政策と社区の内発的發展－	平尾(若生)麻衣
就業困難な若年者への就職支援の課題と解決策について	前 川 明
在宅で最期を迎える上での“デイコール”の有用性 ～枚方市のモデル事業からの考察～ 【課題研究】	松 本 敏
「京都市 MICE 戦略」を実効性のあるものとするための戦略 ～京都市の地域特性と実態を踏まえた MICE 振興による 都市の魅力の向上に向けて～	山 崎 晶 子

**執筆者紹介**（掲載順）

池田佳代	本学政策学研究科修士課程修了
池田英郎	本学政策学研究科修士課程修了
大西英生	本学政策学研究科修士課程修了
岡本博和	本学政策学研究科修士課程修了
風岡宗人	本学政策学研究科修士課程修了
下釜卓	本学政策学研究科修士課程修了
正阿彌崇子	本学政策学研究科修士課程修了
田代利恵	本学政策学研究科修士課程修了
若生麻衣	本学政策学研究科修士課程修了
樫本昌子	本学政策学研究科修士課程修了
鈴木啓也	本学政策学研究科修士課程修了
比賀江文子	本学政策学研究科修士課程修了
前川明	本学政策学研究科修士課程修了
松本敏	本学政策学研究科修士課程修了
山崎晶子	本学政策学研究科修士課程修了

## 龍谷大学大学院『政策学研究』内規

制 定 2011年 9月 28日

一部改正 2012年 6月 6日

(目的と名称)

第1条 龍谷大学大学院政策学研究科院生の学術研究の奨励及びその成果の発表のため、学術雑誌を年1回発行する。

2 この学術雑誌を『政策学研究』と称する。

(『政策学研究』の構成)

第2条 『政策学研究』には、修士論文、課題研究及びその他の研究成果(以下「論文」という。)並びに修士論文要旨及び課題研究要旨(以下「要旨」という。)を掲載する。

(論文提出資格)

第3条 『政策学研究』に掲載する論文を提出する資格を有する者は下記のとおりとする。

- ① 大学院政策学研究科在籍者。
- ② 大学院政策学研究科修了者。
- ③ その他編集委員会が認めた者。

(編集委員会)

第4条 『政策学研究』の編集に関する事項を管掌するため、『政策学研究』編集委員会(以下「委員会」という。)をおく。

- 2 委員会は、大学院政策学研究科所属の専任教員2名により構成する。
- 3 委員の任期は1年とする。但し再任を妨げない。
- 4 委員会に委員長をおく。委員長選出は委員の互選による。
- 5 委員会の招集は、委員長がおこなう。

(論文及び要旨の掲載手続)

第5条 論文は、委員会の定めた募集要項に基づき、本内規第3条に該当する者よりこれを公募する。

- 2 前項の論文のうち、原則として修士課程における指導教員の推薦に基づき、委員会が承認したものを掲載する。
- 3 要旨は、原則として前年度修士課程修了者全員の修士論文要旨及び課題研究要旨を掲載する。

(論文及び要旨の電子化及びインターネットでの公開)

第6条 「政策学研究」に掲載された論文及び要旨は、原則として電子化し、龍谷大学図書館ホームページ、機関リポジトリ等を通じてインターネットに公開する。

(著作権)

第7条 論文及び要旨の著作権は、その著作者が保持する。

- 2 論文及び要旨の著作者は、著作権の行使を龍谷大学に許諾するものとする。ただしこの許諾は、執筆者の人格権に影響を及ぼすものではない。
- 3 前項の許諾は、論文及び要旨の原稿が提出された時点で行われたものとする。
- 4 論文及び要旨における既存の著作物の利用(引用・転載等)に関し権利者との間に生じた紛争については、著作者がその任にあたる。

(事務)

第8条 『政策学研究』に関する事務は、研究部がおこなう。

付 則

この規程は、2011年9月28日より施行する。

付 則 (2012年6月6日第6条、第7条、第8条改正)

この規程は、2012年6月6日より施行する。

龍谷大学大学院政策学研究 第1号

2012年9月28日 発行

編 集 龍谷大学大学院政策学研究編集委員会  
発 行 京都市伏見区深草塚本町 67

印 刷 株式会社 田中プリント  
京都市下京区松原通菴屋町東入  
石不動之町 677-2

# The Bulletin of the Graduate School of Policy Science, Ryukoku University

## Articles

- Methodology of the Participatory Practices in Education to which Growth is Urged:  
Case study of the Digital Storytelling Workshop  
Kayo IKEDA
- 
- After School Care for Handicapped Children of School Age Toward an Inclusive Community  
Hideo IKEDA
- 
- On the Deliberate Maintenance of Water Facilities at the Stage of Intensive Renewal:  
Exploring the Possibility of New Collaboration between Local Governments  
Hideki ONISHI
- 
- Consideration about Rules of the Local Government Finance Administration:  
Trial of the Civic Participation in Planning  
Hirokazu OKAMOTO
- 
- Evaluating Local Government Policies for Sustainable Local Society:  
Achievements and Challenges Faced by an Environmental NGO and a Citizens Conference  
Muneto KAZAOKA
- 
- The Model of "Urban Type Flood Control" to Overcome Localized Torrential Rain:  
The Area Runoff Control to Utilize Rain Water in Cooperation with Local Community  
Takashi SHIMOGAMA
- 
- "Residents' Space (Metaphysical)" by Tracing Citizen's Behavior to the Nuclear Power Construction Plan in Town Makimachi  
of Niigata Prefecture.  
Takako SHOAMI
- 
- A Study of the Role of Cultural Events in the Community Building Utilizing Multi-Partnership:  
Case Study on the Local Cities with Historic District  
Rie TASHIRO
- 
- Roles of the Intermediary Organization Played During the Industrial Structure Transformation in Taomi Eco-village, TAIWAN:  
A Policy Developed for "Community Empowerment Program" in the Earthquake Disaster Restoration Model and Changes in the  
Community  
Mai WAKOH
-